

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 地域防災対策総合治山事業（資料 3 - 3 事業番号 1 9）
- 路線名又は箇所名： 田頭地区
- 事業の概要
 - 工 期：平成 1 9 年度～平成 2 2 年度（4 ヶ年）
 - 事 業 費：4 9 4, 5 0 9 千円
 - 事業内容：治山ダム 16 個、山腹工 0.35ha、流路工 41.6m

【公共事業の効果等】

- 荒廃した溪流の溪岸浸食の防止や、不安定な土石の移動防止。
- 水源の涵養など、森林の持つ公益的機能の向上。
- 下流の人家や公共施設等の保全。

【事業実施前の状況等】

- 平成 18 年 9 月 16 日の秋雨前線による集中豪雨（最大時間雨量 92 mm、24 時間連続雨量 351 mm、午前 7 時～午前 11 時の 4 時間で 323mm）により、複数の山腹崩壊が発生すると共に、二つの溪流で土石流が発生し、下流の田頭地区まで土石等が流出した。
- 家屋の全壊 1 戸、損壊 4 戸、橋梁 7 基が破損するなど甚大な被害が発生した。
- 被災後も、降雨時に山腹や溪岸の浸食が進行すると共に、集中豪雨により拡大崩壊や溪流内の不安定な土石が流れ出す恐れがあった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 治山ダムや流路工の施工により、不安定な土石の移動防止や溪岸浸食の防止が図られた。また、溪岸浸食による濁水の防止が図られ、水質が改善されて環境が良くなった。
- 山腹崩壊地等の緑化により、多様な植物が林床に生育して生物環境が良くなった。
- 森林の再生が進み、景観への影響は発生していない。

（県民の声）

- 豪雨災害発生当時は、土石流により家屋や道路が被災し、恐怖で眠れない日が続いたが、平穏な生活に戻った。
- 治山事業により荒廃溪流や山腹崩壊地が復旧整備された姿を見ると、安心感がある。